



めぐろ

2025

291号

令和7年1月1日

地域と共に、
これからも。

※目黒区の花:萩(ハギ)

- ★ 新年のご挨拶
- ★ シルバーと私
- ★ 已年生まれのメッセージ
- ★ 区長懇談会
- ★ パネル展
- ★ 地域貢献活動 活動報告
- ★ 見守りネットワーク
- ★ 家事援助・育児支援サービス班全体会議
- ★ 防災講習会
- ★ トピックス
- ★ 見つけた!あのヒト!
- ★ 目黒区あれこれ
- ★ 会員意識調査アンケート

目黒区シルバー人材センターの
ホームページはこちら!

詳細や最新情報を掲載中。ぜひご覧ください。

目黒 シルバー

検索



会員数

男性 673名
 女性 509名
 合計 1,182名
 令和6年12月1日現在

発行・編集

本部:目黒区目黒1-25-26(田道ふれあい館)

TEL 03-3793-0181 FAX 03-3793-0588

分室:目黒区目黒本町2-1-20

TEL 03-5721-2593 FAX 03-5721-2594

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。目黒区シルバー人材センター会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は年の初めに能登半島で発生した大規模地震を始め、観測史上稀に見る猛暑が記録される等、自然の猛威を日本全体で体感する一年となりました。

既存の枠組みだけでは対処できない突発的な事象が発生した際、近年は多くの方々から自らの技術や知識を携えボランティアとして現場に赴き、現地の方々や地元行政と一体となり活躍される場面を目にする事も多くなりました。様々な方々が課題解決に尽力されている姿を拝見するにつれ、「共助」の重要性というものを改めて認識する機会が増えております。

少子高齢化や人口減少が進む現在の社会情勢において、高齢者の方々が有する深い知識や様々な経験を基にした社会への積極的な参画は、より良い社会を創り上げていくために必要不可欠なものとなります。目黒区シルバー人材センター会員の皆様におかれましては、今年も様々な分野で多くの方々のご活躍される事と存じます。より良い目黒区を共に創り上げていくためにも、会員の皆様のお力添えを頂ければ嬉しい限りです。櫻井誠会長をはじめ、本年も会員の皆様のご活躍を重ね、目黒区シルバー人材センターとして飛躍の年となることを願っております。

結びとなりますが、今年一年が会員の皆様にとって実り多き年となりますことを祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



名誉会長
目黒区長

青木 英二

明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は「乙巳」(きのと・み)年です。

「柔軟性に富み、クリエイティブな発想で、協力や調和を重んじチームワークで目標に向かって努力を惜しまない」年とされています。

今年度は、5次中期計画の終了の年でもあり、6次中期計画の開始の年でもあります。作成に当たり1年間知恵を絞って皆で作りました。変化の激しい年に対応しながら「HappinessからWell-Beingへ」というスローガンの基、新しい年にして参りたいと思います。

目黒区の高齢化率は20%を越えようとしており、超高齢化社会になり始めて来ております。地域に根ざすシルバー人材センター、地域班の地域活動は益々重要になって参ります。地域のイベントなどに参加するなどしてコミュニケーションを取りながらシルバーライフ楽しんで参りましょう。

デジタル社会への移行も否応なしに進んで来ております。会員の皆様方が取り残されないように対応して参ります。

「健康で、明るく、元気な、楽しい、夢あるシルバー人材センター」を作り上げましょう。

最後になりましたが、会員の皆様方、ご家族の皆様のご多幸とご健勝を祈念申し上げまして年頭のご挨拶とさせていただきます。



会長

櫻井 誠

シルバ - と私

～卒寿(90歳)を迎えて～

会社勤めが40年、シルバーに入り30年。植木が好きで植木の仕事を希望しました。当時は、経験のある人たち10人程度がシルバーで植木の作業をしていました。私は経験がなかったので、しごと財団での講習を受け、先輩の下で仕事を覚えました。6人一緒に就業を開始しましたが、残ったのは3人でした。数年後に14人の会員がまとめて入ってきたので、植木班として組織を作りました。班員は少しずつ増え、今では植木班総勢50人程になりました。

「植木ははさみで切るけれど、口で切る植木の仕事もある。」お客様に安心してお任せいただき丁寧な仕事をする。現役時代は営業畑だったので、こんな思いで仕事をしてきました。それが今日の植木班の仕事の広がりにも繋がっていると思います。

以前は週5日仕事をしていましたが、今は週3日程度で無理をしないようにしています。シルバーには定年が無い。仲間もできてお小遣いももらえて、無理せず一生懸命にやれば健康も得られる。こんなにいい組織はないと思っています。

数年前まで先輩に米寿(88歳)の方がおられ、その先輩を越すまでは頑張りたいとひそかに思っていました。今年の8月に植木班のみなさんが卒寿(90歳)のお祝いをしてくださいました。そろそろ辞めようかなという思いもありましたが、「寿命が延びたよ。」と言いながら、元気なうちはもう少し続けたいと思います。



永村 登 (90歳)

駒場地域班



巳年生まれのメッセージ

令和6年11月末現在、当センターの会員の中に巳年生まれの“年男・年女”は、84歳を迎えられる(昭和16年生まれ)方が43名いらっしゃいます。4名の方にメッセージをいただきました。



質問 あなたにとって、楽しいこと、生きがいはなんですか？

リフォーム班で、お仕事をさせていただいています。スタッフと楽しく、なごやかに過ごしています。お洋服のお直しや、お着物、帯などからのリフォームで、お洋服や袋物などの手作り作品でお客様から喜んでいただけることが、生きがいとなっています。

健康面では、ウォーキングクラブに入り、週1回のウォーキングを楽しんでいます。仕事やウォーキングは、なるべく長く続けられることを願っています。



菅刈・東山地域班 武田 徳子

シルバーには友人からの紹介で入り、早11年になります。これまでの思い出は、碑・大岡山東班や除草班のお手伝いや仕事を通して知り合った人々との交流です。今では、趣味であるゴルフや麻雀を楽しんでいます。シルバーには、弟も入会しています。退屈することなく、嫌な思いもなく、楽しくたくさんの友達ができ良かったです。これからも元気でいられる限り、シルバーの一員でいたいと思います。



碑・大岡山東地域班 平柳 荘司

シルバーは、2002年(平成14年)11月に入会して、23年目。幅広い分野と年齢の方々に出会えて、楽しく仕事ことができました。

健康第一で元気だから仕事ができます。仕事をやっているから元気です。

これからもよろしくお願ひします。



油面東地域班 生駒 樹

楽しみの一つは「飲みにケーション」です。班長時代、仕事上、地域班内は勿論、他の団体との繋がりが広がり、その方々と夕刻から時間を忘れる雑談に身を置くとき、至福を感じるのです。また、楽器を持ち寄りサークルを作り、他のグループで演奏させて戴き、そのための練習で新曲への挑戦は、更に楽しいときとなります。そうした集まりが生きがいとなっていきます。



八雲地域班 稲垣 邦夫

目黒区長との懇談会

要望事項



- 1 政策目的随意契約による
シルバー人材センターへの事業事務の発注について
- 2 インボイス制度への対応、及びフリーランス法の
施行を踏まえた契約方法の見直しの対応について
- 3 物価上昇等による配分金対応について
- 4 「めぐろ区報」一面を使用した
センターPR記事の掲載について



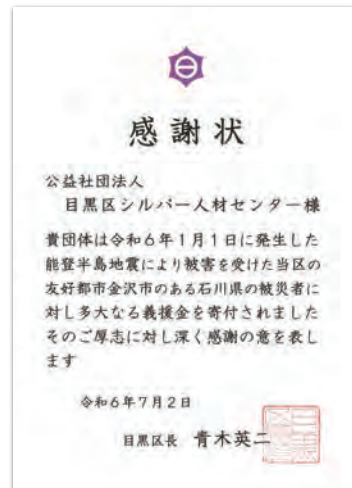
令和6年7月2日(火)10時から目黒区総合庁舎4階特別会議室で、目黒区長と目黒区シルバー人材センターとの令和6年度懇談会が開催されました。理事13名・監事2名、事務局から3名の計18名が出席しました。青木英二目黒区長と櫻井誠会長の挨拶に続き、センターの状況報告と目黒区に対しての要望、意見交換などが行われました。

能登半島地震復興支援活動

6月4日(火)に開催された第14回定時社員総会の会場において、石川県能登半島地震復興支援活動として会場内に募金箱を設置したところ、総会に出席した会員の皆様からご支援とご協力をいただきました。会員の皆様からお預かりした義援金は、65,125円となりました。

区長懇談会終了後、櫻井誠会長から青木英二目黒区長にお渡しいたしました。義援金は、目黒区を通じて友好都市の石川県に届けていただきます。

会員の皆様のご支援とご協力に感謝申し上げます。



シルバー人材センター センター紹介パネル展

今年も、全国シルバー人材センター事業協会が設定する「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間(10月)」に合わせて、令和6年10月8日(火)から令和6年10月14日(月)まで、目黒区総合庁舎1階西ロビーにて、センターを紹介するためのパネル展を開催しました。期間中は、理事2名がパネルの前で、目黒区役所に訪れる方々に声をかけ、シルバー人材センターの概要の説明や、入会説明会の案内を行いました。



地域貢献推進委員会からのお知らせ

令和6年度は、地域貢献活動への積極的な参加と会員交流グループへの活動支援を二大目標として、会員の皆様と共に一生懸命取り組んで参りました(右欄参照)。既に8つのイベントに主催・共催として参加しております。各地域班にはコロナ前に参加した地域のイベントが、いくつかあることと思います。もう一度、皆さんで力を合わせ地域イベントに参加しましょう。高齢化社会ではありますが、センターも地域の方々もお互い力を合わせて楽しみましょう。

地域貢献活動とボランティア参加実績

- ① 道路清掃活動と主要公園清掃活動(1~12月)
- ② 目黒川クリーンアップ大作戦(3、7、12月)
- ③ パーシモンほたる祭り(7月)
- ④ 八雲の夏まつり(7月)
- ⑤ 碑文谷公園盆踊り大会場内誘導(7月)
- ⑥ こまばのまつり(10月)
- ⑦ 目黒商工まつり(リフォーム班)(11月)
- ⑧ 八雲ワイワイまつり(11月)
- ⑨ 東京マラソンまつり他



道路清掃活動「メグちゃんデー」



目黒川クリーンアップ大作戦



主要公園清掃活動



こまばのまつり(駒場地域班)

“少し様子が変わだなー” と思ったら…

目黒区シルバー人材センターは、「目黒区見守りネットワーク」に参加しています。

目黒区見守りネットワーク(愛称:「見守りめぐねっと」)は、日常生活の中で、何らかの支援を必要としている人の「ちょっと気がかり」なことに気づいた際に、お近くの地域包括支援センターに連絡することで、地域をゆるやかに見守っていく取り組みです。見守りの対象は、何らかの支援を必要とするすべての人です。

見守りを推進するため、協力団体、協力事業者、協力機関などが、ネットワークをつくります。目黒区シルバー人材センターは、協力団体として参加しています。

多くの方に関心を持っていただくことで、地域の支え合いの輪を作ります。会員の皆様のご協力をお願いいたします。



- 新聞や郵便物がたまっている…
- 不自然な服装をしている…
- 昼間でも雨戸が閉まったままになっている…
- 自宅への帰り道がわからない様子…
- 暗くなっても電気がつかない…
- 洗濯物が干しっぱなし…
- 最近、どなり声がよく聞こえる…
- ここ数日、姿を見ない…
- ふだん見かけない人が出入りしている…

など

※お近くの「包括支援センター」へ連絡を! —

○連絡をうけた包括支援センターでは、職員が訪問するなど状況を確認し、その後、必要な支援を行います。(ご連絡いただいた方のことをお話することはありません。)

家事援助・育児支援サービス班全体会議



令和6年9月26日(木)に、家事援助・育児支援サービス班全体会を開催し、13名の会員が参加しました。

全体会ではシニア向けのメイク講座を開催し、講師としてイリス色彩研究所の講師2名をお迎えしました。ファンデーションの塗り方やアイメイクの仕方など、「印象を良くし、見た目を整える」ためのパーソナルメイクレッスンをしていただき、就業時に適したメイクを学ぶことができました。

また、講座後には会員交流会を行い、普段顔を合わせる機会が少ない会員同士で就業時の困りごとなどを共有し、今後の活動に活かせるとても有意義な時間となりました。

センターでは今後も会員の皆様に不安なく活動をしていただけるよう研修会や交流会などを企画していきますので、引き続きセンターでの活動にご尽力いただきますようお願いいたします。

「防災講習会」の開催

10月22日(火) 目黒シルバー人材センター本部会議室にて、「防災講習会」を開催し、目黒消防署職員による、①防災講話(地震等)、②応急救護訓練(AED含)、③初期消火訓練を体験しました。

消防職員の方から、防災において先ず気を付けること3点のお話がありました。その後、皆さん積極的に実技訓練に参加しました。



- 地震が起きたら、まず身の安全を最優先に確保する
- 救急車が到着するまでの時間(約7分程度)に応急救護(AED)を実施する
- 火災発生後3分以内に初期消火(消火器、水)を実施する

自然災害の被害を減らすためには、消防・警察・自衛隊による「公助」だけでなく、家族・近隣住民による「自助・共助」が必要不可欠です。

防災訓練に参加し、日頃から防災意識の醸成に努めましょう。

topics



令和6年9月13日 女性対象入会説明会



令和6年10月24日 第2回就業グループリーダー会議



令和6年10月25日 第2回地域班長会議



令和6年度 入会1年目研修会

🔍 見つけた! あの人!

会員の皆様の趣味のコラムを掲載しています。各地区輪番で紹介する予定です。掲載をご希望の方は、班長・地区担当理事までご連絡ください。

バルーンアート



バルーンアートは20年ほど前に孫につくったのが最初でした。本を見ながら、うさぎ、おうむ、プードルなどから始めました。そしてアンパンマンがテレビの人気者になった頃に作り方を教わり、自分で大きさや形を工夫してバリエーションを増やしました。今ではすっかり、アンパンマンが十八番(おはこ)です。



中根地域班
岡本 美紀子



シルバーの一員として、コロナ禍で中止になるまで、「なかねファミリーフェスティバル」には4~5回参加しました。本を見せられ「これを作って」と言われたり、好みの色を指定されたり、会場にやってきた子供たちと会話をしながらリクエストに応じて新しいものに挑戦するのは、何より楽しい時間でした。

最近は6年生の孫も作るようになりました。上級者の作品や本を参考にして、これからもレパートリーを広げていきたいと思っています。

「なかねファミリーフェスティバル」のような、バルーンアートを通じて交流が生まれる場にまた出会えれば、と願っています。

おもちゃドクターになって



現役引退後は地域社会との接点を増やし、健康維持とボケない生活をとシルバー人材センターに入会したのですが、たまたま同時期に友人からおもちゃ病院の存在を聞かされ、これだとひらめきました。壊れたおもちゃをお子さんや親御さんの目の前で順序だてて治療説明したり、複雑なものは試行錯誤と一緒に勉強しながら治していきます。復活した時のお客様の喜びを共有できるおもちゃドクターのありように感化されて始めました。



自由が丘地域班
朝香 俊雄



当初はプラレールが多かったのですが、最近ではスマホもどきまで多岐にわたっています。高齢の方が持ち込まれた昭和30年代に発売された初めてのラジコンカー、遺品を再生したいと持ち込まれたOゲージの電気機関車などを治せた時にはとても興奮しました。

現在は目黒区消費生活センター内で場所をお借りし、毎週日曜に開設している病院で主に活動しており、他には自由が丘地区で月に一回一人で個別に開設しています。

目黒区あれこれ

「シルバーめぐろ」が新しくなりました。

目黒らしい表紙にしたいと、広報部会のメンバーが中心となって話し合って辿り着いたのは、目黒区のシンボルを取り入れることでした。ピンク色で柔らかい雰囲気を出しているのは目黒区の花「ハギ」、題字を運んできてくれているのが目黒区の鳥「シジウカラ」です。そして、全国的に有名になった目黒川の桜は、優しいトーンで中央に配置しました。

これからも、工夫を凝らした目黒区らしい表紙をお届けします。どうぞお楽しみに!

— 表紙について —



会員意識調査アンケート

実施結果

前回、令和元年6月に実施した会員意識調査アンケートに引き続き、会員の意識の変化の把握や第6次中期計画(令和7年度～令和11年度)の基礎データとして活用することを目的として実施しました。

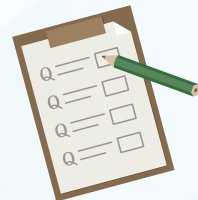
ご協力くださった会員の皆様、貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後のセンター運営に活かしてまいります。

調査期間 令和6年(2024年)
6月17日(月)～7月8日(月)

調査方法 アンケート用紙の郵送配付・郵送回収(郵便料金センター負担)
※サンプル方式を採用し、令和6年6月1日現在に在籍する会員の中から無作為に抽出した約300人(290名)を対象とする。

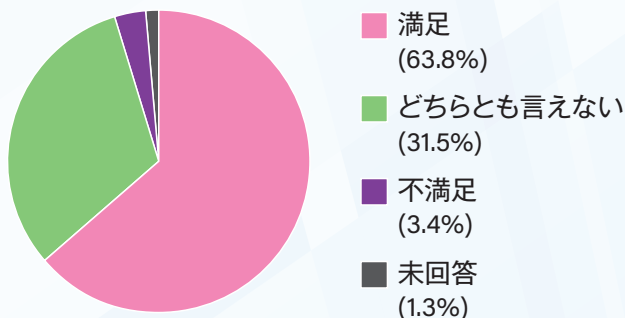
- 調査項目**
- ① シルバー人材センター全般に関する質問
 - ② 地域班活動及び地域貢献活動に関する質問
 - ③ 就業に関する質問
 - ④ 危機管理・安全就業に関する質問
 - ⑤ シルバー人材センターの事業計画・組織運営等に関する意見

全会員数	1,158人
調査対象者数	290人
回答者数	235人
回答率	81.0%

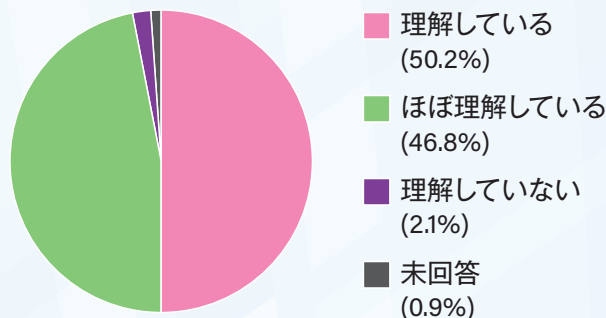


<主な調査結果は、以下のとおりとなりました>

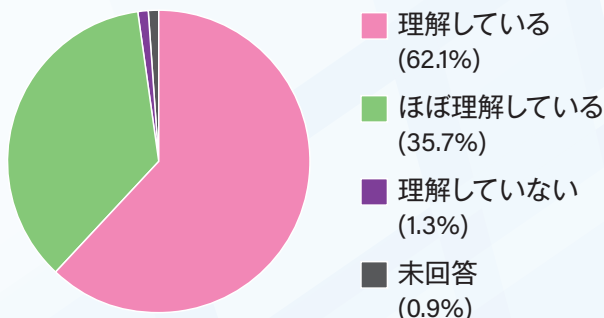
1 あなたは、シルバー人材センターの会員として満足していますか。



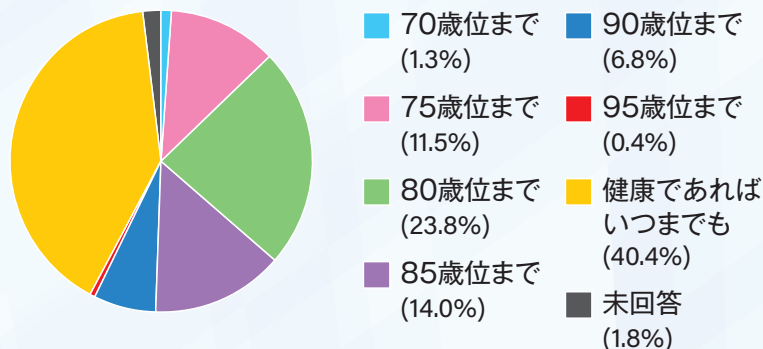
2 あなたは、シルバー人材センターの事業理念「自主・自立」「共働・共助」について理解していますか。



3 あなたは、「就業」とともに「地域貢献活動」への参加が求められていることを理解していますか。



4 あなたは、シルバー人材センターで何歳ぐらいまで就業したいと考えていますか。



5 あなたにとって、シルバー人材センターの会員である理由は何ですか。(複数回答可)

